



令和3年11月12日

各位

会社名 近鉄グループホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 小倉 敏秀
(コード: 9041 東証第1部)
問合せ先 経理部長 磯川 直之
(TEL. 06-6775-3465)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、令和3年5月14日に公表した令和4年3月期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	775,000	10,000	12,500	28,000	147.25
今回修正予想 (B)	716,000	3,000	18,000	34,000	178.77
増減額 (B-A)	△59,000	△7,000	5,500	6,000	—
増減率 (%)	△7.6%	△70.0%	44.0%	21.4%	—
(参考)前期実績 (令和3年3月期)	697,203	△62,115	△41,959	△60,187	△316.62

2. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症が収束せず、本年8月に今期二度目の緊急事態宣言が発出されたこと等により、鉄軌道部門で旅客収入が想定を下回っているほか、旅行部門でも旅行需要の回復が遅れるなど、各セグメントで厳しい事業環境が続いております。その結果、営業収益と営業利益で、前回発表した業績予想を下回る見通しとなりました。

一方、営業外収益で雇用調整助成金等の受入の増を見込むほか、近鉄エクスプレスの業績が堅調に推移しており、持分法による投資利益の増加が見込まれるため、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益で、前回発表した業績予想を上回る見通しとなりました。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上